

広島大学教育開発国際協力研究センター (CICE)
平成 24 (2012) 年度活動報告

1. 調査研究活動

(1) 科学研究費による調査研究の実施

- 「能力開発の観点から見た留学成果の測定に関する研究」(平成 23 年-25 年 挑戦的萌芽研究 研究代表者: 黒田則博)
- 「バングラデシュ農村部で拡充された学校教育制度と職業の接続に関する研究」(平成 24~26 年度 若手研究 B 研究代表者: 日下部達哉)

(2) 学術交流の推進

現在締結している協定は以下の通り。

- ・マラウイ大学教育研究研修センター(部局間協定)(平成 18 年度)
- ・ケニア・ケニヤッタ大学(大学間協定)(平成 18 年度)
- ・ガーナ・ケープコースト大学(大学間協定)(平成 20 年度)(平成 14 年度に同大学教育研究所と締結した部局間協定の格上げ更新)
- ・ウガンダ・マケレレ大学教育学部(平成 20 年度)
- ・インド・国立教育計画行政大学(部局間協定)(平成 22 年度)(平成 16 年度に旧国立教育計画行政研究所と締結した交流協定の延長)
- ・マレーシア・マレーシア科学大学(大学間協定)(平成 24 年度)
- ・米国・ニューヨーク州立大学アルバニー校教育管理・政策研究科(部局間協定)(平成 24 年度)

(3) 基礎教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話プロジェクト(第三フェーズ)

本事業(A-A プロジェクト)の第一フェーズは、2004~2007 年の間、ユネスコ、JICA、国連大学との協力により、「基礎教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話」事業として実施された。第一フェーズに続き、同じくこれらの機関との協力の下、また新たに文部科学省から予算を得て、28 大学(アフリカ 16 大学、アジア 12 大学)が参加して、2009 年から 2011 年まで第二フェーズを実施した。

第二フェーズでは、第一フェーズでの共同研究に加え、研究者交流、学生交流事業も新たに実施した。研究についても、従来各大学それぞれに研究テーマを決めていたが、3 つのテーマ(“Equity and Gender”, “Quality and Educational Policy”, “Teacher Professional Development”)のうちから一つを選び、それに沿った調査研究を行った。

また、このフェーズでは、参加大学により公式の(機関間の)ネットワークを形成することとし、ネットワークの規約を定め、それに正式に署名した大学のみがネットワークのメンバーとなれることとした。さらに、このネットワークは、国連大学・ユネスコの UNITWIN 事業の一つとして承認されている。

2012 年 6 月からは、全参加大学の合意の下、第三フェーズに入っている。

本年度については、次の活動を行なった。

- ① 平成 24 年 7 月 3 日には、A-A ダイアログ第三フェーズの第一回総会を早稲田大学で実施した。参加加盟大学が本年度の活動計画を発表し、承認された。またこれに合わせて、7 月 4 日-6 日には、当センターと早稲田大学の共催による国際教育シンポジウム“*New Agenda of Post-2015 for Educational Development in Africa and Asia*”を実施し、各大学による研究成果発表を行うとともに、各研究グループ代表者 3 名とゲストスピーカー 2 名による発表が行われ、今後の教育開発の課題について協議した。
- ② 第二フェーズの自己評価報告書“SELF-EVALUATION Report “Africa-Asia University Dialogue for Educational Development”(A-A Dialogue) Network: June 2009-June 2012”を作成し、上記総会に提出した。
- ③ 平成 23 年 4 月 12 日に「UNU/UNESCO UNITWIN 2010-2011 年活動報告書」を、平成 24 年 4 月 23 日に「UNU/UNESCO UNITWIN 2011-2012 年活動報告書」をユネスコに提出した。

- ④ A-A ダイアログからの貢献として、メンバー大学であるマダガスカル・アンタナリボ高等師範学校が主催する「教育・学習のための ICT(2012 年 6 月)国際シンポジウムに、広島大学高等教育研究開発センター大場淳準教授およびニジュール・アブド・マウマウニ大学のニナ・アイシャ教授をリソース・パーソンとして派遣した。
- ⑤ ユネスコ及びナミビア教育省の主催によりウィンドック (ナミビア) で開催された “The fifth International Policy Dialogue Forum of the International Task Force on Teachers for Education for All” (2012 年 1 月 27 日-29 日)に、A-A ダイアログネットワークを代表して、事務局長の黒田則博(広島大学教育開発国際協力研究センター長)を派遣し、同ネットワーク事業について発表を行った。
- ⑥ 第二フェーズの研究成果をセンターの「国際教育協力論集」の特集号として公表するほか、センターの叢書としても刊行する。(平成 25 年 3 月予定)

2. 戦略・政策提言

(1) 文部科学省、外務省、JICA 等への協力

- ・外務省独立行政法人評価委員会委員 (平成 23 年度から)
- ・外務省 Global Partnership for Education に係る日本の活動についての助言 (平成 20 年度から)
- ・外務省国際教育協力協議会委員 (平成 20 年度から)
- ・JICA「シリア国基礎教育セクタープログラム形成調査」 (平成 22 年度から)
- ・JICA 研究所「東アジアの地域統合、労働市場と人的資本形成」調査 (平成 22 年度から)
- ・JICA「ミャンマー国教育セクター情報収集・確認調査」 (平成 24 年度)

3. 知見の集積・発信

(1) 第 10 回国際教育協力日本フォーラム (JEF-X) — 自立的教育開発に向けた国際協力—

文部科学省、外務省、筑波大学との共催により実施した (平成 25 年 2 月 7 日、東京・文部科学省講堂)。今年度のテーマは、「良質の基礎教育拡充に向けて - 教員をめぐる課題 -」。

(2) 「国際教育協力論集」の発行

国際教育協力分野では我が国で唯一の学術研究誌「国際教育協力論集」を発刊している。本年度は、第 15 巻第 1 号 (和文)、第 2 号(英文、A-A ダイアログ特集、予定) を刊行。

(3) CICE セミナー

第 149 回：平成 24 年 7 月 12 日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：(Re)Building Memory: School Textbooks, Identity, and the Pedagogies and Politics of Imagining Community

講師：Dr. James H. Williams (George Washington University、CICE 外国人客員教授)

第 150 回：平成 24 年 7 月 26 日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Gender and Persistence in School: First results of a longitudinal study of 6th grade Cambodian students

講師：Dr. James H. Williams (George Washington University、CICE 外国人客員教授)

第 151 回：平成 24 年 8 月 2 日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Privatization and Teacher Education in Cambodia: Implications for equity and quality

講師：Dr. James H. Williams (George Washington University、CICE 外国人客員教授)

第 152 回：平成 24 年 10 月 4 日 (会場：広島大学 CICE 国際研修室)

題目：Comparative Exploration of the Emergence and Development of Guidance and Counselling in the U.S., Japan and Nigeria

講師：Dr. Abdulrashid Garba (Bayero University, Kano-NIGERIA、CICE 外国人客員教授)

第153回：平成24年10月18日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：Conceptualization and Operationalization of Higher Degree Researches in Guidance and Counselling: A Second Thought
講師：Dr. Abdulrashid Garba（Bayero University, Kano-NIGERIA、CICE 外国人客員教授）

第154回：平成24年11月8日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：The Imperatives of Programming in Guidance and Counselling in Higher Education
講師：Dr. Abdulrashid Garba (Bayero University, Kano-NIGERIA、CICE 外国人客員教授)

第155回：平成24年11月29日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：Theoretical Views of Human Nature and Causes of Anxiety from Ethno-cultural Perspective
講師：Dr. Abdulrashid Garba（Bayero University, Kano-NIGERIA、CICE 外国人客員教授）

第156回：平成25年2月15日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）（予定）
題目：Technology content in high school teacher training program in Vietnam: current situation and issues from a didactic point of view
講師：Dr. Nguyen Chi Thanh (Vietnam National University、CICE 外国人客員教授)

第157回：平成25年3月8日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）（予定）
題目：The use of dynamic geometry software by high school teachers in Vietnam: analysis from case studies
講師：Dr. Nguyen Chi Thanh (Vietnam National University、CICE 外国人客員教授)

第158回：平成25年3月22日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）（予定）
題目：Curriculum reform in Vietnamese high school curriculum: a historical perspective and challenges
講師：Dr. Nguyen Chi Thanh (Vietnam National University、CICE 外国人客員教授)

(4) その他セミナー等

CICE Special Seminar：平成24年6月21日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：香港における中国本土からの移民の子どもの学業到達と大学進学に関する一考察
発表者：Prof. Suet-ling Pong (米国ペンシルバニア州立大大学院教育理論政策学科教授)

CICE Open Seminar 1：平成24年11月2日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：Capacity Development for Policy Analysis Using Research Results and Field Knowledge for Education Quality Improvement
発表者：JICA 研修「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」研修員

CICE Open Seminar 2：平成24年11月6日（会場：広島大学 CICE 国際研修室）
題目：Capacity Development for Research-based Policy Formulation towards Quality Improvement in Education for Sub-Saharan Africa
発表者：JICA 研修「アフリカ地域研究を基礎とした教育の質的向上のための政策形成能力開発」研修員

CICE 特別セミナー：平成24年2月6日(会場：キャンパスイノベーションセンター東京)
題目：Education for Sustainable Development in Africa
発表者：ジンガイ・ムトゥンプカ（アフリカ教育開発連合議長）
題目：Teacher development: A global challenge, local responses
発表者：エデン・アドゥブラ（ユネスコ 教員政策と開発課課長）

(5) ホームページの維持管理

- ・CICE のホームページをリニューアル。「国際教育協力論集」の全巻 PDF ファイルにて掲載。

4. モデル事業実施支援等

○平成 24 年度 JICA 集団研修の受入れ

「研究成果と現場の知見を生かした教育の資質向上のための政策分析能力開発」と題した本研修事業において、アフリカとアジアから 14 名の教育省行政官に加え、当センターからも、アフリカとアジアから 1 名ずつ計 2 名の大学研究者を招聘し、広島と東京において講義や教育関連施設の視察などを実施した。

5. その他

(1) 外国人客員研究員の招聘

次の 3 名を客員教授として招聘した。

Dr. James Williams	George Washington University, USA	Jun 1, 2012	—	Aug. 11, 2012
Dr. Abdurashid Garba	Bayero University Kano, Nigeria	Aug. 1, 2011	—	Nov. 30, 2011
Dr.Nguen Chi Thanh	Vietnam National University, Hanoi, Vietnam	Sep 1, 2012	—	Dec. 31, 2012

(2) 外国人専門家等の招聘

- ・教育開発のためのアフリカ・アジア大学間対話事業の第三フェーズの第一回総会に伴い、アフリカから 31 名、アジアから 9 名を招聘した。
- ・平成 24 年度 JICA 研修「研究成果と現場の知見を生かした教育の資質向上のための政策分析能力開発」実施に伴い、アフリカとアジアから 14 名の教育省行政官に加え、当センターからも、アフリカとアジアから 1 名ずつ計 2 名の大学研究者を招聘した。
- ・平成 24 年度 CICE 研究員集会特別セミナーおよび第 10 回国際教育協力日本フォーラム開催に伴い、4 名の研究者の招聘した。

(3) インターンシップの実施

実質的には平成 13 年度から行ってきたが、15 年度から実施要項を定め正式な制度として実施することとした。平成 24 年度は 11 名のインターン（学部生 9 名、大学院生 2 名）を受入れ、CICE が実施するプロジェクトや研修、国際会議等の活動補助などを行った。昨年からの実施のケニヤッタ大学に加え、A-A Dialogue 事業の下に、マレーシア科学大学（マレーシア）との国際学生会議の機会を設け、広大学生・院生 12 名からなる代表団をマレーシアへ派遣し、12 名のマレーシア科学大学代表団とともに国際学生会議を開催した。

(4) 大学院教育への協力

平成 16 年度より、大学院国際協力研究科において授業科目「国際教育協力実践論」を CICE 教員全員で担当していたが、平成 20 年度より、新たに「国際教育協力論」（吉田教授）、およびゼミとして「教育開発国際協力論演習」（吉田教授、櫻井准教授、日下部准教授）を担当し、本格的に学生指導を始めた。なお、黒田教授は平成 7 年の同研究科設立時から、「国際教育交流論」および「高等教育交流論」を担当している。平成 22 年度より、櫻井准教授は「基礎教育開発論」を担当しており、平成 23 年度より日下部准教授は「途上国の比較教育学」を担当している。

(平成 25 年 3 月作成)